



合唱

掛川市在住の佐藤美穂さん(82歳)は、合唱(声楽)が大好きなスーパーウーマンです。子供の頃から歌を唱うことが大好きな彼女が掛川に住むようになったのは、戦時中(昭和19年暮れ)に着の身着のまま東京から掛川市内の親戚を頼って東山口に疎開したのが始まりです。それは小学校3年生の時でした。当時から独唱コンクールに積極的に参加したり、放送局へ招かれ歌番組に出演したりしていました。とにかく唱うことが大好きな少女でした。

やがて掛川東中学校に入学し素晴らしい音楽の先生との出会いがあり、中学校・高等学校では師弟関係として合唱指導を受けながら研鑽を積みました。その後、縁あって恩師である音楽の先生とご結婚され、20歳代は子育てを中心にご主人が携わっていた掛川合唱連盟の事務局の裏方としてお手伝いをしていました。さらに、30歳代に入り、師でもあるご主人の「合唱を広めたい」という強い思いに共感し、美穂さんも本格的に合唱指導を始めることになりました。



合唱



合唱

ここで8年前(2010年)に帰らぬ人となられたご主人の佐藤忠夫先生をご紹介します。長年にわたり静岡県合唱連盟をリードされ、掛川合唱連盟でもひとかたならぬ功績を残された偉大な方です。

・写真は生前の佐藤忠夫先生の指揮で唱う合唱団のみなさん

「わが歌はここに ～合唱指導者・佐藤忠夫先生の生涯～」をご覧ください。
<http://www.fuji-culture.info/achievements/01.html>



合唱



合唱

ご覧いただいたように生涯にわたり合唱指導に熱き情熱を傾け、「合唱を広めたい」という思いを胸に秘めながら指導された佐藤忠夫先生のもとで、美穂さんは掛川合唱連盟事務局の裏方としてお手伝いをしながら、当時の婦人学級のコーラス部を「掛川女声コーラス」として立ち上げ、以降52年にわたり合唱指導者として指導をされてきました。由紀さおり・安田祥子姉妹との競演もしました。

さらに、忠夫先生と共に「歌唱教室」(現在の『唱歌教室』ききょうの会)を立ち上げ、時にはピアノ伴奏者として、時には指揮者としてお手伝いをされ、国際シニア合唱祭にも参加しました。現在では忠夫先生のご遺志を引き継ぎ美穂さんが合唱指導者として忙しい毎日を送っています。

また、忠夫先生が合唱指導者であった「かけがわ第九を歌おう会(現在のkakegawaシティコーラス)」には合唱団のメンバーとしても参加されています。

- ・掛川女声コーラス50周年記念のDVD(写真左)
- ・浴衣姿で指揮をとる佐藤美穂さん(写真右)



合唱



合唱

先日、美穂さんが合唱指導(指揮)をしている「掛川女声コーラス」の練習風景を拝見致しましたが、練習中(約2時間)はずっと立ちっぱなしで、指揮者としての合唱指導はとても情熱的で迫力があり、時間が経つのを忘れるくらいでした。

さらに、ご長男が合唱指導をしている「kakegawaシティコーラス」の練習風景も拝見致しましたが、発声練習やパート別の練習では元気いっぱい発声されとても82歳とは思えないほどの声量でした。

- ・「掛川女声コーラス」の練習風景(写真左)
- ・「kakegawaシティコーラス」の練習風景(写真右)



合唱



合唱

また、音程をとる訓練になるということで、テルミン(電子楽器)とロシアのマトリョーシカを合体させた「マトリョミン」という楽器にもチャレンジしています。272名の合奏でギネスの記録に挑み見事世界認定されました。そのときの様子がYOUTUBEの動画で見ることが出来ますのでご覧下さい。次回は350名ほどでギネス記録にチャレンジする予定とのことです。

- ・マトリョミンを演奏する美穂さん(写真左)
- ・6人でマトリョミンの合奏(写真右)

<https://www.mandarinelectron.com/matryomin/>(マトリョミンとは?)

<https://www.youtube.com/watch?v=Zor5IozGNe0&t=7s>(ギネス記録世界認定時の動画)



全体合唱 会場全員で「掛川市歌」を唱う(写真右)
指揮者 佐藤真澄(ご長男)

合唱

合唱



「『唱歌教室』ききょうの会」のみなさん(写真左)
指揮者 佐藤美穂
曲目
・赤いサラファン ・ホフマンの舟歌

合唱

合唱



「掛川女声コーラス」のみなさん(写真右)
指揮者 佐藤美穂
曲目
女声合唱組曲「秘密の花」より
・髪 ・思い出はは美しすぎて



「Kakegawaシティコーラス」のみなさん
指揮者 佐藤真澄(ご長男)
曲目
オラトリオ「メイサイア」よりNo. 4
・And the glory of the Lord
・夜明けから日暮れまで

合唱

合唱



今年の8月19日(日)には「第42回掛川合唱祭」が掛川生涯学習センターで開催されました。この企画は掛川合唱連盟が主催者、掛川市教育委員会や(公財)掛川市生涯学習振興公社が後援者で毎年開催されていますが、美穂さんは主催者側の理事として企画運営にも携わっています。

この合唱祭には21団体が参加しましたが、美穂さんが合唱指導(指揮)をしている「『唱歌教室』ききよの会」「掛川女声コーラス」も参加しました。また、美穂さんは「kakegawaシティコーラス」にも合唱団の一員として参加しました。美穂さんの合唱に込める熱き情熱を感じた素晴らしい合唱祭でした。

8年前に歸らぬ人となられた忠夫先生の後継者として、現在のご長男が引き継いでおり美穂さんもその支えとなり、忠夫先生の「合唱を広めたい」という思い(ご遺志)を胸に日々研鑽を積まれているその熱き心に魅了されました。

まさに、佐藤美穂さんはスーパーウーマンそのものです。これからも合唱指導者として「楽しみ半分、努力半分」をモットーに指導をされ、合唱をさらに広めていただき、引き続き私たちに素敵な歌を届けて下さい。

小笠・榛南地区 特派員 高井 豊

(問い合わせ先 090-4803-4368 高井まで)